第180号
令和8年10月1日発行

地域景況レポート

2026年「令和8年度第1期（4月～6月期）」

とっかけ

“涼しげな音色を聴きながら夏のお参り”





色とりどりの風鈴が一斉に涼しげな音色を奏でる参道（上）。災厄が払われることで福徳がもたらされる茅の輪

國魂神社の夏詣

夏詣は、1年の始まりにその年の平穏を願う「初詣」に対し、年の折り返しである7月に神社や寺院を訪れ、半年間の無事に感謝し、残り半年の平穏を祈る参拝です。

平成26（2014）年に浅草神社が提唱し、日本の新たな“夏の風物詩”として、多くの神社仏閣が風鈴や花手水といった涼しげで華やかな装飾で参拝者を魅了しています。令和8（2026）年8月現在、全国各地で600を超える社寺が参画しています。

國魂神社では約2,000個の風鈴が飾られ、参道を涼しげな音色で包み込みます。参道の奥には大きな茅の輪（ちのわ）が配され、「茅の輪くぐり」で身を清めることができます。

目　次

表　紙　“涼しげな音色を聴きながら夏のお参り”
1～5　中小企業景気動向調査の集計結果
　　特別調査「中小企業における価格転嫁について」
6　企業紹介「（有）永山洋品店」
7　市内の観光歴史めぐり：田人の念仏太鼓／向日葵

街の応援団・町のパートナー
ひまわり信用金庫

中小企業景気動向調査の集計結果

［調査対象企業数　400 社］
［回答企業数　387 社］
［回収率　96.7%］

景気動向調査回答企業　（先）

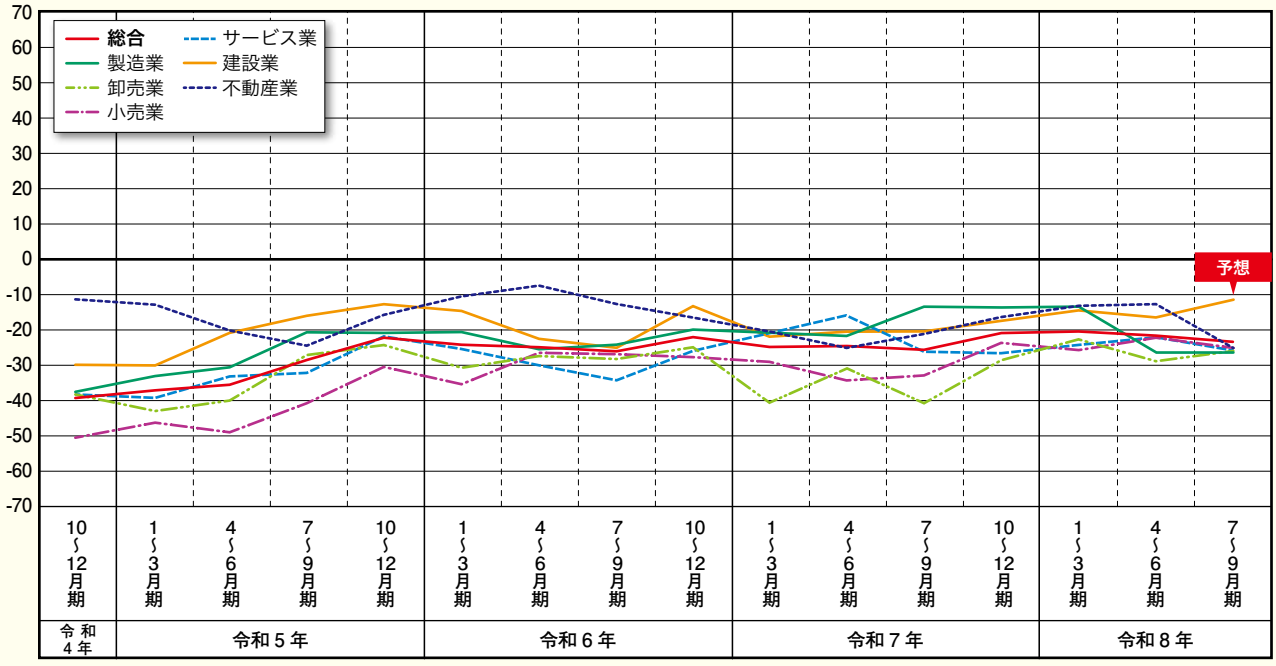
	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計
平・内郷方部（本店・四倉・豊間・内郷・平窪・好間・中央台支店の地域）	29	14	46	30	25	10	154
小名浜・常磐方部（小名浜・泉・湯本・遠野・鹿島支店の地域）	29	13	36	26	27	9	140
勿来方部（植田・錦・勿来・中岡支店の地域）	18	4	29	21	16	5	93
合計	**76**	**31**	**111**	**77**	**68**	**24**	**387**

―― 概　況 ――

いわき市全域の業況は、わずかに悪化し、先行きについてもわずかに悪化する見込み

令和 8 年 4 月～ 6 月期の自企業の業況 DI を前回調査（令和 8 年 1 月～ 3 月期）と比較すると、いわき市全域では「悪化」超 21.9％と悪化超幅が 1.7 ポイント拡大した。前回調査時の「今期予想」では「悪化」超を 21.7％とみていたので、予想よりも悪化超幅が 0.2 ポイント拡大した。地域別では、平・内郷方部は「悪化」超 18.8％と悪化超幅が 3.3 ポイント拡大した。小名浜・常磐方部は「悪化」超 15.7％と悪化超幅が 7.9 ポイント縮小した。勿来方部は「悪化」超 36.6％と悪化超幅が 13.9 ポイント拡大した。

先行き（令和 8 年 7 月～ 9 月期）は、いわき市全域で「悪化」超 23.2％と悪化超幅が 1.3 ポイント拡大することが見込まれている。



自企業の業況

※ DI（Diffusion Index）値とは
　景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値で、「とっかけ」の指標は DI 値を使用しています。

業種別・地域別業況

製造業、卸売業、建設業で悪化し、先行きは小売業、サービス業、不動産業で悪化する見込み

前回調査（令和８年１月～３月期）と今回調査（令和８年４月～６月期）を業種別に比較すると、製造業は「悪化」超 26.3％と悪化超幅が 13.0 ポイント拡大、卸売業は「悪化」超 29.0％と悪化超幅が 6.4 ポイント拡大、建設業は「悪化」超 16.2％と悪化超幅が 1.5 ポイント拡大した。一方、小売業は「悪化」超 22.3％と悪化超幅が 3.3 ポイント縮小、サービス業は「悪化」超 22.1％と悪化超幅が 2.6 ポイント縮小、不動産業は「悪化」超 12.5％と前回調査と同数となった。

先行き（令和８年７月～９月期）は、製造業は横ばい、卸売業、建設業で悪化超幅が縮小する一方、小売業、サービス業、不動産業で悪化超幅が拡大することから、業種全体では「悪化超」23.2％と悪化超幅の拡大が見込まれている。

業種別の業況

（ ）は前回調査時の今期予想［単位：%］

業種別	令和8年1月~3月期	令和8年4月~6月期	令和8年7月~9月期(予想)
総合	▲20.2	▲21.9(▲21.7)	▲23.2
製造業	▲13.3	▲26.3(▲16.0)	▲26.3
卸売業	▲22.6	▲29.0(▲30.0)	▲25.8
小売業	▲25.6	▲22.3(▲25.6)	▲25.0
サービス業	▲24.7	▲22.1(▲24.7)	▲26.0
建設業	▲14.7	▲16.2(▲16.2)	▲11.8
不動産業	▲12.5	▲12.5(▲16.7)	▲25.0

地域別の業況［方部別の推移］

［単位：%］

方部別	令和8年1月~3月期	令和8年4月~6月期	令和8年7月~9月期(予想)
いわき市全域	▲20.2	▲21.9	▲23.2
平・内郷方部（本店・四倉・豊間・内郷・平窪・好間・中央台支店の地域）	▲15.5	▲18.8	▲20.6
小名浜・常磐方部（小名浜・泉・湯本・遠野・鹿島支店の地域）	▲23.6	▲15.7	▲16.4
勿来方部（植田・錦・勿来・中岡支店の地域）	▲22.7	▲36.6	▲37.6

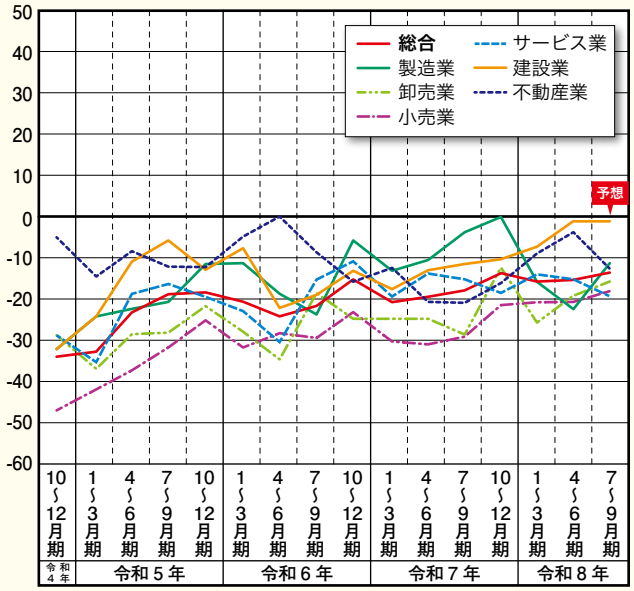
※▲は「悪化」超

▸▸ 売上額

売上額は、前回調査（令和８年１月～３月期）の「減少」超 15.8％に対し、今回調査（令和８年４月～６月期）では、「減少」超 15.5％と減少超幅が 0.3 ポイント縮小した。

先行き（令和８年７月～９月期）は、「減少」超 13.7％と売上額の減少を見込まれている企業がわずかに減少している。

売上額の業種別 DI の推移



▸▸ 受注残

製造業における受注残は、前回調査（令和８年１月～３月期）の「減少」超 18.7％に対し、今回調査（令和８年４月～６月期）では、「減少」超 19.7％と減少超幅が 1.0 ポイント拡大した。

先行き（令和８年７月～９月期）は、「減少」超 5.3％と受注残の減少を見込まれている企業が大幅に減少している。

建設業における受注残は、前回調査（令和８年１月～３月期）の「減少」超 2.9％に対し、今回調査（令和８年４月～６月期）では、「減少」超 17.6％と減少超幅が 14.7 ポイント拡大した。

先行き（令和８年７月～９月期）は、0.0％と「減少」超の解消が見込まれている。

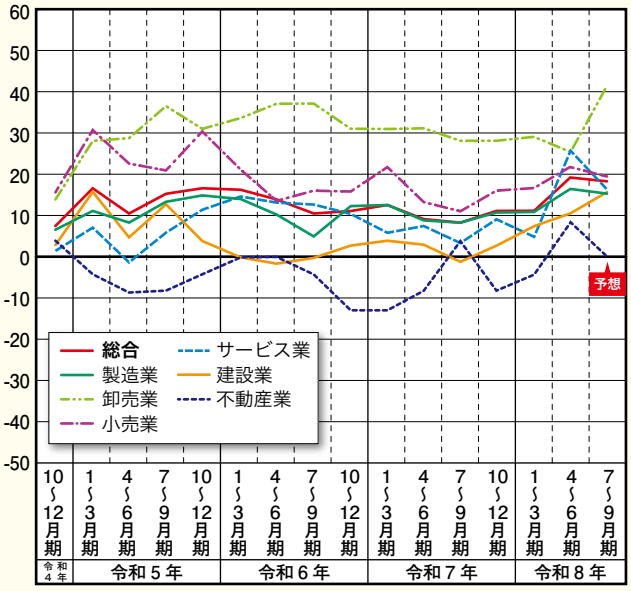
▸▸ 施工高

建設業における施工高は、前回調査（令和８年１月～３月期）の 0.0％に対し、今回調査（令和８年４月～６月期）では、「増加」超 2.9％と令和元年 10 月～12 月期以来、26 期ぶりに「増加」超に転じた。

先行き（令和８年７月～９月期）は、「増加」超 13.2％と施工高の増加を見込まれている企業が大幅に増加している。

▸▸ 販売・請負価格

販売・請負価格の業種別 DI の推移



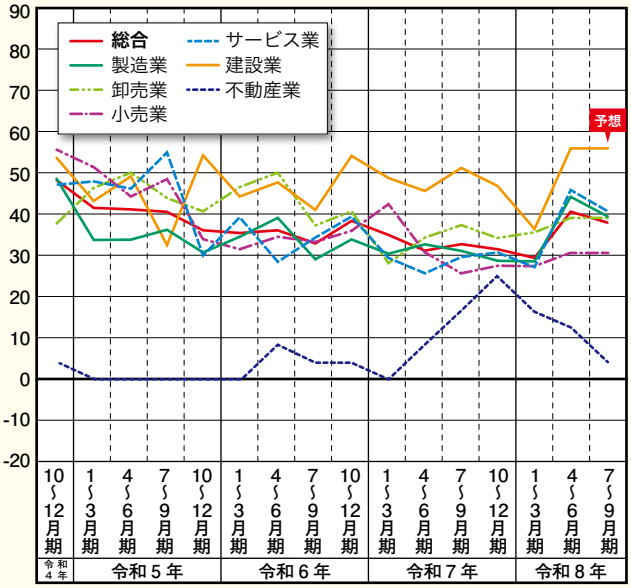
販売・請負価格は、業種全体で前回調査（令和８年１月～３月期）の「上昇」超 11.5％に対し、今回調査（令和８年４月～６月期）では、「上昇」超 19.3％と上昇超幅が 7.8 ポイント拡大した。

業種別では、不動産業が上昇超に転じ、卸売業を除くすべての業種で上昇超幅が拡大した。

先行き（令和８年７月～９月期）は卸売業、建設業は上昇超幅が拡大する一方、製造業、小売業、サービス業、不動産業で上昇超幅が縮小することから、業種全体で「上昇」超 18.3％と販売・請負価格は上昇を見込まれている企業がわずかに減少している。

▸▸ 原材料・仕入れ価格

原材料・仕入れ価格の業種別 DI の推移



原材料・仕入れ価格は、業種全体で前回調査（令和８年１月～３月期）の「上昇」超 29.1％に対し、今回調査（令和８年４月～６月期）では、「上昇」超 40.3％と上昇超幅が 11.2 ポイント拡大した。

先行き（令和８年７月～９月期）は、業種全体で「上昇」超 37.7％と原材料・仕入れ価格の上昇を見込まれている企業がわずかに減少している。

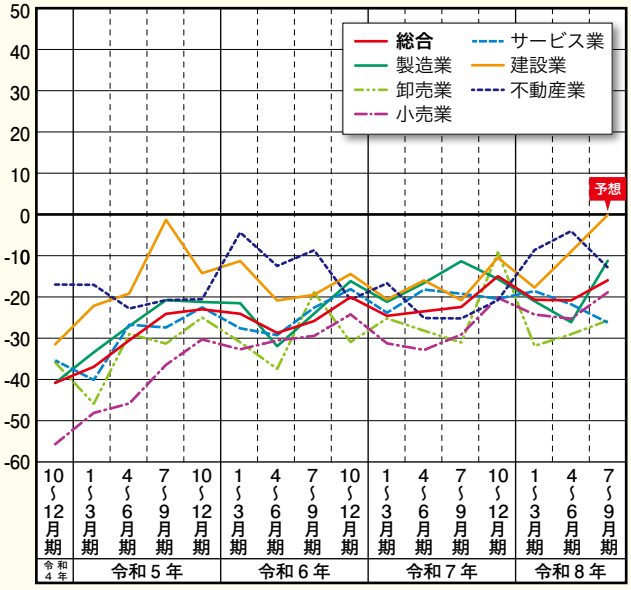
▸▸ 収益

収益は、業種全体で今回調査（令和８年４月～６月期）は「減少」超 20.9％と前回調査（令和８年１月～３月期）と同数となった。

業種別に前回調査（令和８年１月～３月期）と今回調査（令和８年４月～６月期）を比較すると、卸売業、建設業、不動産業は減少超幅が縮小した一方、製造業、小売業、サービス業は減少超幅が拡大した。

先行き（令和８年７月～９月期）は、業種全体で「減少」超 15.7％と収益の減少を見込まれている企業が減少している。

収益の業種別 DI の推移



▸▸ 在庫

在庫の状況は、業種全体で前回調査（令和８年１月～３月期）の「不足」超 2.5％に対し、今回調査（令和８年４月～６月期）では、「不足」超 7.1％と不足超幅が 4.6 ポイント拡大した。

先行き（令和８年７月～９月期）は、製造業で「不足」超幅が拡大し、その他すべての業種で不足超幅が今回調査と同数になることが見込まれることから、業種全体で「不足」超 7.7％と在庫の減少を見込まれている企業はほぼ横ばいとなっている。

▸▸ 資金繰り

資金繰りは、引き続きすべての業種で「苦しい」超となっており、業種全体でも「苦しい」超19.3％となった。

先行き（令和８年７月～９月期）も、すべての業種で「苦しい」超としており、業種全体で「苦しい」超20.4％となり、資金繰りは、今後も厳しい状況が続くものと思われる。

▸▸ 金融機関借り入れ状況

金融機関からの借り入れ状況は、全体の90.7％の企業が「借り入れしない」とした。

今後の借り入れ予定についても、すべての業種で「借り入れの予定なし」とした企業が「借り入れの予定あり」とした企業を上回っており、全体の91.8％の企業が「借り入れの予定なし」としている。

また、金融機関からの借り入れ難易度は、「難しい」・「該当なし」とする企業の割合が前回調査（令和８年１月～３月期）の89.8％に対し、今回調査（令和８年４月～６月期）では、88.9％となり、借り入れは行わないとする考え方は、依然として変わっていない。

▸▸ 設備の状況

設備の状況は、９割の企業（令和８年４月～６月期90.7％、令和８年７月～９月期予想89.8％）が「適正」とした。

なお、「適正」以外の回答をみると、今回調査（令和８年４月～６月期）でも、全ての業種で「不足」・「やや不足」とする企業が「過剰」・「やや過剰」とする企業を上回ったことから、業種全体で「不足」超7.7％と前回調査と同様「不足」超の状況となった。

設備投資の実施・予定

上段：先数
下段：比率（％）

業種	令和８年４月～６月期							令和８年７月～９月期						
	土地・建物	機械・新増	機械・更改	事務機器	車両	その他	実施しない	土地・建物	機械・新増	機械・更改	事務機器	車両	その他	実施しない
総合	3 0.8	3 0.8	9 2.3	5 1.3	8 2.0	1 0.3	366 92.7	2 0.5	2 0.5	7 1.8	5 1.3	5 1.3	1 0.3	373 94.4
製造業	1 1.2	1 1.2	5 6.2	1 1.2	2 2.5	0 0.0	71 87.7	1 1.2	1 1.2	5 6.2	1 1.2	1 1.2	0 0.0	72 88.9
卸売業	0 0.0	0 0.0	1 2.9	0 0.0	1 2.9	0 0.0	33 94.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	35 100.0
小売業	2 1.6	―	―	1 0.8	1 0.8	1 0.8	119 96.0	1 0.8	―	―	1 0.8	0 0.0	1 0.8	121 97.6
サービス業	0 0.0	1 1.2	3 3.7	1 1.2	2 2.4	0 0.0	75 91.5	0 0.0	0 0.0	2 2.4	0 0.0	2 2.4	0 0.0	78 95.1
建設業	0 0.0	1 1.4	0 0.0	2 2.7	2 2.7	0 0.0	68 93.2	0 0.0	1 1.4	0 0.0	3 4.1	2 2.7	0 0.0	67 91.8

経営上の問題点

（複数回答）

項目	計	業種別					
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
売上の停滞・減少	145	30	13	38	37	19	8
人手不足	81	7	5	29	27	11	2
同業者間の競争の激化	68	16	1	10	14	19	8
利幅の縮小	55	3	0	3	0	40	9
工場（店舗）・設備（機械）の狭小・老朽化	53	29	4	20	0	―	―
大手企業（大型店）との競争の激化	51	9	―	18	9	14	1
合理化の不足	36	20	1	―	1	14	―
取扱商品の陳腐化	35	―	0	8	27	―	―
人件費以外の経費の増加	28	8	0	12	6	2	0
販売商品（商品物件）の不足	27	―	0	22	―	―	5
人件費の増加	25	3	9	9	0	0	4
原材料高（材料価格の上昇）	22	9	―	―	13	0	―
その他	155	25	19	52	24	29	6
問題なし	19	4	9	0	5	0	1
合計	800	163	61	221	163	148	44

当面の重点経営施策（経営のポイント）

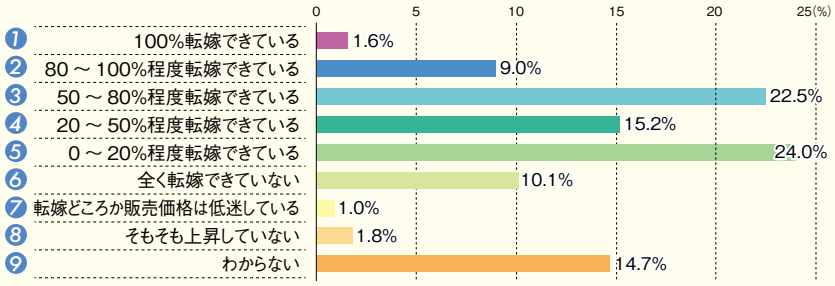
（複数回答）

項目	計	業種別					
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
経費を節減する	210	44	17	55	44	42	8
販路を広げる	79	29	8	―	18	17	7
宣伝・広告を強化する	69	―	―	33	25	―	11
情報力を強化する	41	13	4	―	―	14	10
人材を確保する	40	9	2	6	10	12	1
品揃えを改善（充実）する	31	―	6	25	―	―	―
提携先を見つける	27	11	3	―	10	―	3
技術力を強化する（高める）	24	―	―	―	7	17	―
売れ筋商品を取り扱う	18	―	―	18	―	―	―
商店街事業を活性化させる	11	―	―	11	―	―	―
教育訓練を強化する	8	3	0	1	4	0	0
仕入先を開拓・選別する	8	―	―	8	―	―	―
その他	53	23	4	10	8	5	3
特になし	79	11	9	28	10	17	4
合計	698	143	53	195	136	124	47

特別調査「中小企業における価格転嫁について」

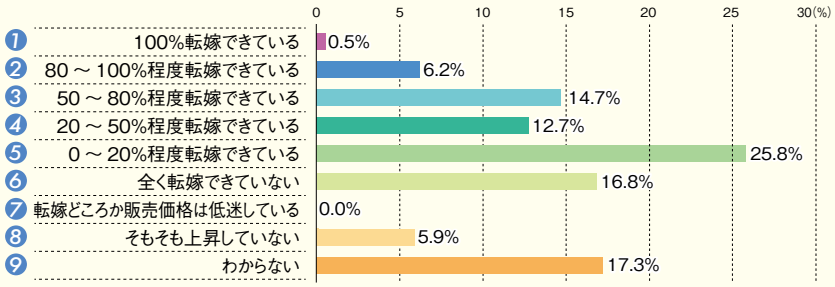
問1

近年、取引条件の適正化を促進する政策的な動きが活発化しています。貴社では、ここ数年（2020年ごろから）の原材料・仕入価格の上昇分を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。1～9の中から1つ選んでお答えください。



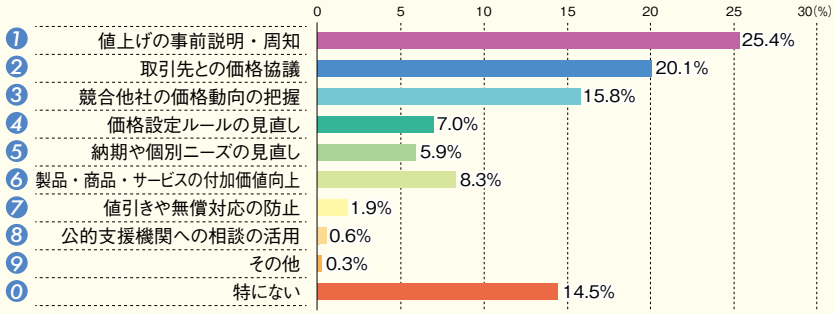
問2

貴社では、ここ数年（2020年ごろから）の労務費・人件費の上昇分を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。1～9の中から1つ選んでお答えください。



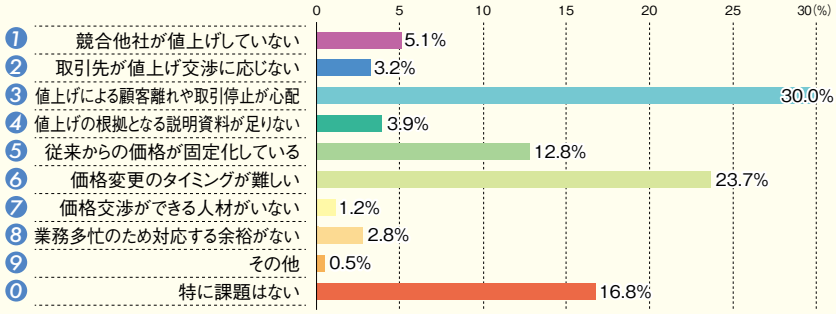
問3

貴社が取引先（販売先）との円滑な価格交渉・価格転嫁を進めるために、重視している取り組みは何ですか。1～0の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。



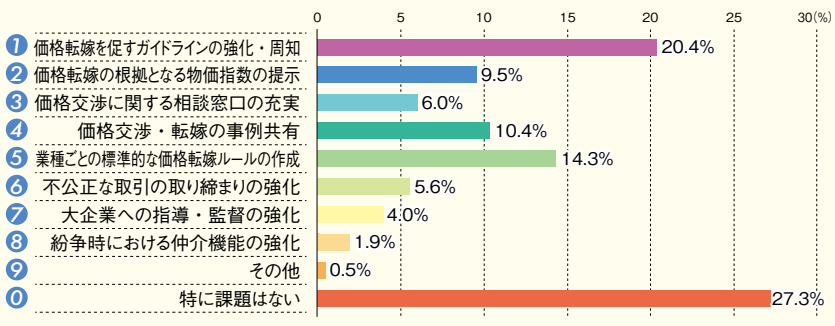
問4

貴社が価格転嫁を進めるうえでの課題は何ですか。1～0の中から主なものについて3つ以内で選んでお答えください。



問5

今後、貴社が円滑な価格交渉・価格転嫁を進めるうえで、行政に重視してほしいと感じる取り組みはありますか。1～0の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。



企業紹介
public relations

（有）永山洋品店





社長　永山　隆男

住　　所：〒974－8261　いわき市植田町本町6
電話番号：0246－68－7271
営業時間：午前9時30分～午後7時
休　　日：不定休







当社は昭和23（1948）年にこの地で創業し、同39年に法人化しました。当初は雑貨店として歩み始めましたが、婦人服および学校指定服の販売に特化し、今に至っております。

現在は植田、植田東両中学校に加え、校区内に位置する植田、菊田、汐見が丘の各小学校、このほか磐城農業高校の制服、体操着、シューズなどを取り扱っています。入学時期はもとより、婦人服の販売も含めて年間を通じて集客を図っているところです。

少子高齢化や仕入れ価格の上昇など、経営環境は年々厳しさを増していますが、80年近くにわたり「信用・信頼」を積み重ね、良い商品を誠実に届けてきた実績は当社の大きな力になっています。また、学生服メーカーとの永年にわたる取り引きも強みです。

これからもお客様を大切にし、信用と信頼を積み重ねながら、地域に根差した営業を続けてまいります。



【編集室から】

カジュアルブランドの台頭やインターネット通販の普及などで、衣料品の消費行動は近年、大きく様変わりしてきました。しかし、小売店だからこその「強み」があることも事実です。

同店が強調する「信用・信頼」はその最たるものと言えます。積み重ねるために実践してこられたのは、地域に根差し、顧客を大切にする姿勢。それは、永山社長が繰り返し話される「分け隔てなく、失礼がないように」という言葉にも表れています。

もちろん、洋品店は商品が命。10日に1度はショーウインドーなどのディスプレーを変え、来店客に新鮮さを提供されています。特に長年の経験から、喜んでもらえる「1点もの」を仕入れて届けています。

クリーニングの営業も担っており、アフターフォローまでを行うことで、顧客満足度を高めているのも特徴です。店舗は東日本大震災で被害を受けましたが、改修して新たな歩みを続けています。

市内の観光歴史めぐり



▲田人の念仏太鼓（いわき市の文化財）＝写真・いわき市の文化財より

（エリア：田人地区）

田人の念仏太鼓

（たびとのねんぶつだいこ）

いわき市には、多くの観光歴史名所、文化財があります。

「市内の観光歴史めぐり」として、田人の念仏太鼓を紹介します。

いわきのお盆というとじゃんがら念仏踊りが有名ですが、田人地区では田人の念仏太鼓がともに知られています。しかし、その伝承の経過については明らかではありません。

念仏太鼓を演じるのは、お盆と祭礼のときです。新盆回向で、精霊供養を家々の庭先で行うほか、8～9月にかけて各所の祭礼で演じられます。

衣装は、浴衣・帯・襷・鉢巻き・手甲・白足袋をつけ、じゃんがら踊りとは異なり、草履は履きません。

新盆回向時の演技の流れは、次のようになります。

門口で太鼓・笛・鉦（かね）を鳴らしながら念仏太鼓の一行が家に入り、決まった演目を順番に奉納します。最後に代表が回向口上し、再度演奏しながら家を退去します。

お使いみちは自由！
お客様の夢の実現を応援します。



WEBから24時間お申込みできます

column

向日葵

日本銀行福島支店が６月に公表した2026年６月分の福島県金融経済概況は、県内景気は、足踏みしている。

最終需要の動向をみると、個人消費は、横ばい圏内の動きとなっている。住宅投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、緩やかに持ち直している。公共投資は、下げ止まりつつあると公表されております。

当金庫の令和８年４月～６月期の景気動向調査では、いわき市全域の業況は「悪化」超21.9%と前回調査（令和８年１月～３月期）と比較すると、わずかに悪化し、先行きについてもわずかに悪化することが見込まれています。また、資金繰りについては、依然としてすべての業種で「苦しい」超となっており、先行きについても、すべての業種で「苦しい」超となっています。

当金庫は、今後もお客様の様々な課題解決のお手伝いをさせていただくため、お客様に寄り添い、積極的にかつ迅速に取り組んでまいります。

発行／ひまわり信用金庫
〒970－8026　いわき市平字二町目10
編集／総務部　総務グループ　TEL.0246－23－8500
https://www.shinkin.co.jp/himawari/

▶『とっかけ』とは　「始める」「取りかかる」という意味のいわき地方の方言です。この情報を、何かを始めようとする時のきっかけ、取っかかりにして頂ければ幸いです。